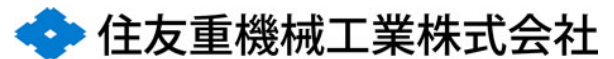


2019年11月1日(金)



決算説明会 質疑応答(要旨)

(2019年度第2四半期)

Q1. 為替感応度は。

A. 下期の想定為替レートは、USドル105円、ユーロ120円としております。1円の変動で下期営業利益に対し、USドル4億円、ユーロ1億円の影響があります。

Q2. キャッシュ・フローも良好なので、減配する必要はなかったのではありませんか？

A. 社内で議論を尽くし、中期経営計画の基本方針である配当性向30%維持に則り決定いたしました。次期中期経営計画では、新たな配当政策を検討してまいります。

Q3. プラスチック機械事業の下期マーケットへの手応えはいかがでしょう？

A. 市場は厳しいと想定しておりますが、新製品投入で受注獲得を目指してまいります。

Q4. 北米の建設機械マーケットの動向はいかがでしょう？

A. オイルガスプロジェクト等の大型インフラ工事に使用されるモバイルクレーンのマーケットは、昨年の下期から悪化し、今年度に入りストップしてしまいました。中型ショベルは、若干スローダウンしていますが、モバイルクレーンほどは悪くありません。

以上